発言順位	２番

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和６年　６　月　11　日

三島市議会議長　堀江　和雄　様

三島市議会議員　　15　　番　　髙田　康子

質問事項１	発災後のトイレ問題、三島市はトイレについてどのように考えているのか

具体的内容　令和６年１月１日午後４時１０分に石川県輪島市等で最大震度７の内陸地殻内地震が起き、多大なる被害があり、犠牲者の方、いまだに避難生活を強いられている方々も少なくないと聞いています。

６月３日午前６時３１分にも緊急地震警報が鳴り響き石川県能登地方では最大震度５強の地震がありました。

今、色々なところで防災が注目されておりますが、防災グッズリストと検索すると、色々なリストにヒットいたします。

そこには、食料、飲み物は最低３日から７日など、必要なリストの上位に「水」「食料」とあるものが多い。また、防災用ヘルメットや頭巾、下着などに続き、懐中電灯やラジオ、身の回りの物の他、気の利いたリストには小さい子どもがいる場合、女性の場合、高齢者がいる場合など、それぞれの対象者が必要であろう物が載っています。

しかし、トイレについてはどうでしょうか。携帯トイレなどトイレに関することがほぼほぼと言っていいほど載っておりません。

2016 年の熊本地震で避難生活を経験した 200 人余りを対象に行ったアンケートでは「避難生活の初期においてもっとも困ったことは。」と言う質問に対し、62％の人が「トイレ」をあげ、50％だった「食事」を上回っております。

今まで、いろいろな地域での震災がありましたが、トイレに関して、その教訓を三島市はどう生かしているのかお聞きいたします

1　避難所のトイレ問題をどのように捉えているのか。またトイレに関してどのように考えているのか。

2　仮設トイレの運営の計画はどのようになっているのか。仮設トイレ以外の物や、トイレトレーラーの導入効果についてもどのように考えているのか。

3　マンホールトイレに対する現状、下水道の災害時においての検査方法、破損時の復旧状況

4　避難所の運営、避難所においてのトイレの準備の優先順位

5　携帯トイレ等の使い方などの周知啓発

6　携帯トイレはどの程度備蓄があるのか。

7　災害廃棄物、汚物の出し方、収集の仕方、BOS 素材の汚物専用袋などの用意等、必要な物の配布、ルールはあるのか。

8　大規模災害時における障がい者のトイレ問題

9　企業版ふるさと納税での防災グッズの募集の可能性はあるか。

10　高齢者や小さな子どもや障がい者など介助が必要な方々へ「ラップポン」の導入の可能性はあるのか。